

ステップ アップ 『日進月歩』

努力することをやめない。
神様は、努力が好きなのです。

パリューゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

『上達のプロセスを楽しむこと』

スポーツへのアプローチは、様々である。楽しむためであったり健康のためであったり、社交であったり、子供なら習い事であったりもするだろう。そしてある程度上達してくるとさらに上手になりたい。場合によっては、プロを目指す、というようなことも出てくる。スポーツの道具も簡単に始められる初心者用の道具と、自分の体形、力にあった道具を計測して作ってもらえるものもある。

ゴルフのコースではずっと前から楽しむためのものと、プロも競技に使う上級者向けのそれと二極化の傾向がある。例えば、アメリカで現地の友人とゴルフに行こうというときは、20ドルぐらいでできる近くのパブリックコースになる。メンバーシップの高いゴルフ場も近くにあるので、そこへ「誰かビジターで連れてってくれないかな」と言うと、「NO! あんなどころには行かなくてもいい。ゴルフは楽しめばいいんだから」と説得されてしまう。パブリックコースでも十分クオリティがあるし、自分たちでカートを引っ張ればいいんだからと。これは二極化以外の何ものでもない。日本でも、昭和50年代に中間のゴルフ場が増えたが、元は二極化だった。いつかは上達してあのコースに行けるようになってみたい、あの会員制のコースでプレーしてみたいと憧れや夢を持ちながら努力し、やっとその夢を叶える、というようなことがあった。

以前は、社会人になり、ゴルフを始める際に、先輩が「俺の使っていたクラブをあげるから、これで覚えてこい!」と自分のクラブを一式あげる、という話をよく聞いた。ちゃんとスコアがいくようになったら自分でクラブを買えという、順送りのようなものが世の中にあった。このように入り口がしっかりしていると、ゴルフ人口も増えるのではないかな、と感じる。

また、身の丈にあったものからスタートして、いつかは、先輩のようなクラブを持ちたい! スコアを伸ばすために、プロの使っているクラブを使用したい、という欲を持つ作業が大切だと思う。

スポーツでもなんでも、下の段から、上の段にあがるためのプロセスや時間を楽しむようになってほしいと願っている。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。